



## SCSI toolbox<sup>32</sup> Host Emulation Option for SV-Series

### 世界中で最も愛用されている診断ソフト

このたび、弊社は米国 SCSI Toolbox, LLC 社(旧 PIT 社)の日本総代理店として、SCSI toolbox32 for Windows95/NT SCSI toolbox32 は、フル 32 ビットのアプリケーションです。SCSI toolbox32 は、他にない柔軟性を持ったツールで、主要な SCSI 機器のメーカーや、アメリカ国内における SCSI 機器のインテグレーターの間で愛用されています。SCSI toolbox32 は高いモジュラリティーとカスタマイズ性のため、HP、Seagate、富士通(米国)やその他多くの会社で採用実績ナンバーワンとなっています。

SCSI toolbox32 はユーザーのことを考えて設計されているため、直感的なユーザーインターフェイスを採用しています。このため、ユーザーは SCSI の専門家並みの知識を得ることができます。

SCSI toolbox32 は、デスクトップ、ノートブックを問わずすべての 32 ビット Windows プラットフォームで使用することができ、SCSI 機器の問題の診断と発見をすることができます。エラーデータのキャプチャーも、SCSI toolbox32 を使って、連続的に SCSI システムを動作させることによって簡単に行うことができます。

### 非常に強力な SCSI テスト機能および診断機能搭載！

SCSI toolbox32 は、プルダウンメニューまたはユーザーが定義した CDB からコマンドを発行することができます。更に、カスタム SCSI コマンドスクリプトを使用することによって、ユーザーが定義したシーケンスでコマンドを発行することもできます。また、SCSI toolbox32 は、モードページ編集や、ファームウェアダウンロード、欠陥のマップの管理、エラーコントロールを簡単に行うことができます。

SCSI toolbox32 は、コマンドにより、シーケンシャルまたは、ランダムで読み込み書き込みテスト、シークテスト、ドライブパフォーマンステストを行うことができます。テスト機能に加えて、SCSI toolbox32 は、ドライブのフォーマットにも理想的なツールです。SCSI toolbox32 は、7種類の UNIX プラットフォームに使用されるデバイスを数秒でフォーマットすることができます。

### SCSI toolbox32 と SCSI-View が同じ PC 上で同時使用可能！

SCSI-View と SCSI toolbox32 を Windows95 上で使用すると、完全な SCSI スティミュレータ・アナライザーシステムを構築することができます。

1台のノートブック PC で、SCSI toolbox32 と SCSI View を別々のウィンドウに表示することによって、SCSI toolbox32 でコマンドを発行し、同時に SCSI-View でバスの観察を行うことができます。さらに、SCSI toolbox32 でユーザーが作成したスクリプトが実行される様子を SCSI-View で観察することができます。



## SCSI toolbox32 (Base Tester)

SCSItoolbox32 for Windows95は、非常に高い柔軟性を持った SCSI ホストエミュレータです。SCSI toolbox32 を使うと、ディスク、テープ、オプティカルデバイスといったあらゆる SCSI 機器のテスト、問題の発見やプログラミングを行うことができます。

モードページの値のセット、ファームウェアのダウンロード、ブロックサイズの変更などさまざまな操作が行えます。

マルチドライブ対応なので、テスト、セットアップの作業を自動的に行うことができ、15 個までのドライブを同時に使用することができ、マルチ SCSI コントローラ環境にも対応しています。

SCSItoolbox32 は、シングルエンド、ディファレンシャル、SCSI 1、2、3、ワイドもしくはナローのデバイスのみならず、Ultra-2 やファイバーチャンネル等をもサポートしています。

### 特長と機能

- ユーザーディファインド SCSI コマンドとコマンドスクリプト
- ランダム R/W テスト
- シーケンシャル R/W テスト
- クイック QC、バタフライシーク
- 読み込み、書き込み、シークのパフォーマンステスト
- モードセンス / セレクト / エディット
- ログとリクエスト センス
- カスタム レポート ジェネレーター
- 読み込み容量の調査
- ファームウェアのダウンロード
- モードセンスの比較
- ドライブのフォーマット
- A/V のオートセットアップ
- エディットのディスコネクト / リコネクト、キャッチング
- ブロックサイズの変更
- テスト条件の変更
- ドライブコンフィデンス

### 最低限必要なシステム

SCSItoolbox32 は ASPI に準拠している、32 ビット Windows95/98、NT 用のアプリケーションですので、下記のシステムが必要です。

- ASPI に準拠している SCSI ホストアダプター（後述の EM-PCMCIA、EM-PCI を参照して下さい）
- Windows95/98 か NT が稼動する、インテル社製の CPU を搭載したコンピューター
- 16MB RAM（SCSI-View アナライザーと一緒に使用する場合は、32MB RAM を推奨いたします）



## SCSI toolbox32 オプションのご紹介

### Workstation Prep Module

SCSI toolbox32 用 ワークステーション 準備のためのソフトウェアモジュール

SUN、SGI、HP、DEC や他の UNIX ワークステーションを使用しての、SCSI ドライブのラベリングやパーティションを PC から自動で行うことができます。

### Media Module

SCSI toolbox32 用 メディアコピーソフトウェアモジュール

SCSI ディスク、SCSI テープ、SCSI オプティカルデバイスなどのコピーを、ソースのデータやフォーマットによらずに、すばやく簡単に作成することができます。(一つのソースから最大 15 個のターゲットをコピーすることができます。)

### Jukebox Module

SCSI toolbox32 用 ジュークボックスソフトウェアモジュール

SCSI オプティカルデバイスや、カートリッジジュークボックスのプログラム、診断、ロボティックスの制御を行うことができます。

### Fiber Channel Module

SCSI toolbox32 用 ファイバーチャンネルソフトウェアモジュール

このオプションは、ファイバーチャンネルドライブの完璧なテストのためのものです。このモジュールをつかえば、同時に稼働している SCSI ドライブとファイバーチャンネルドライブ上で、SCSI toolbox を使用してのテストやその他の機能を活用することができます。

ロジカルアドレスヘッドドライブを編成することができますし、一つのホストアダプターにつき最高 32 のデバイス対応です。

ファイバーチャンネルコントローラーが必要となりますが、ASPI に準拠しているものなら、どれでも稼働いたします。

### ScriptWriter Pro Module

SCSI toolbox32 用 スクリプト作成ソフトウェアモジュール

ScriptWriter Pro Module は、Microsoft Visual Basic のプログラミング言語したスクリプト編集やデバッグ、新しいスクリプトの作成、テスト等が可能なフル機能のエディターです。

以上のオプションモジュールには全て、ベーステスターが必要です。



## EM-PCMCIA (ノートブック用)

SCSI toolbox32 用 PCMCIA ベースの SCSI コントローラとインターフェイスケーブルのセット

ノートブック上で SCSI toolbox32 が稼動するための、ASPI に準拠している PCMCIA がベースになっている SCSI コントローラです。

### セット内容

- アダプテック APA-1460A SCSI コントローラ (PCMCIA カード)
- C-0060 インターフェイスケーブル

## EM-PCI U2 (デスクトップ用)

SCSI toolbox32 用 PCI ベースの SCSI コントローラとインターフェイスケーブルのセット

デスクトップ上で SCSI toolbox32 が稼動するための、ASPI に準拠している PCI がベースになっている SCSI コントローラです。

### セット内容

- アダプテック AHA-2940U2W ワイド、ウルトラ 2 SCSI コントローラ
- C-0060 インターフェイスケーブル

**この SCSI toolbox32 のデモソフトは、下記のアドレスよりダウンロードが可能です。  
<http://www.scsitools.com>  
製品版と全く同じ機能で 7 日間使用可能ですから、ぜひともお試しください**

## SCSI toolbox32 デモソフトのダウンロード

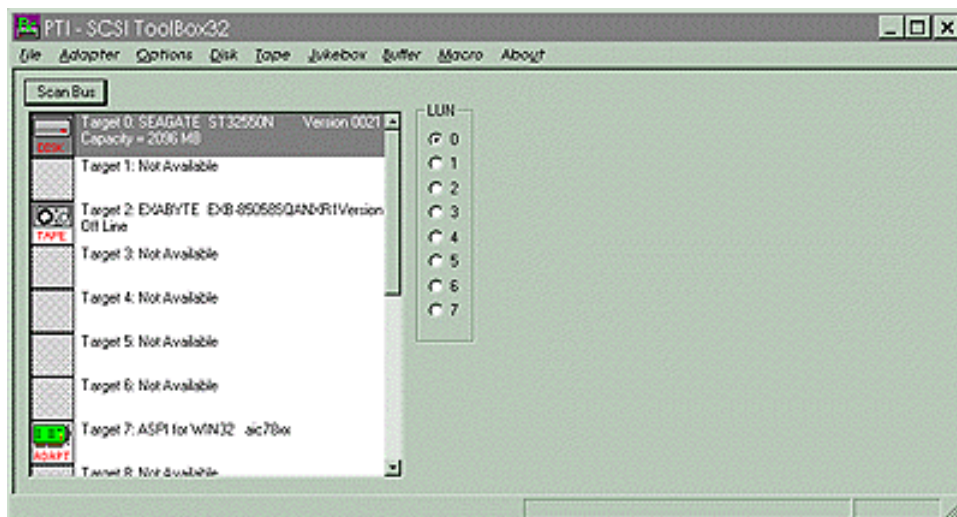
stbdemo.exe をテンポラリディレクトリーにコピーし、実行します。 これにより、stbdemo.exe から、disk1.exe と disk2.exe が展開されます。

Disk1.exe を別の空のテンポラリディレクトリーに入れ、実行し、展開されたファイルを空の 1.44MB のフロッピーディスクにコピーしてください (この時、disk1.exe はコピーしないようにしてください)。これがインストールディスクの 1 枚目になります。

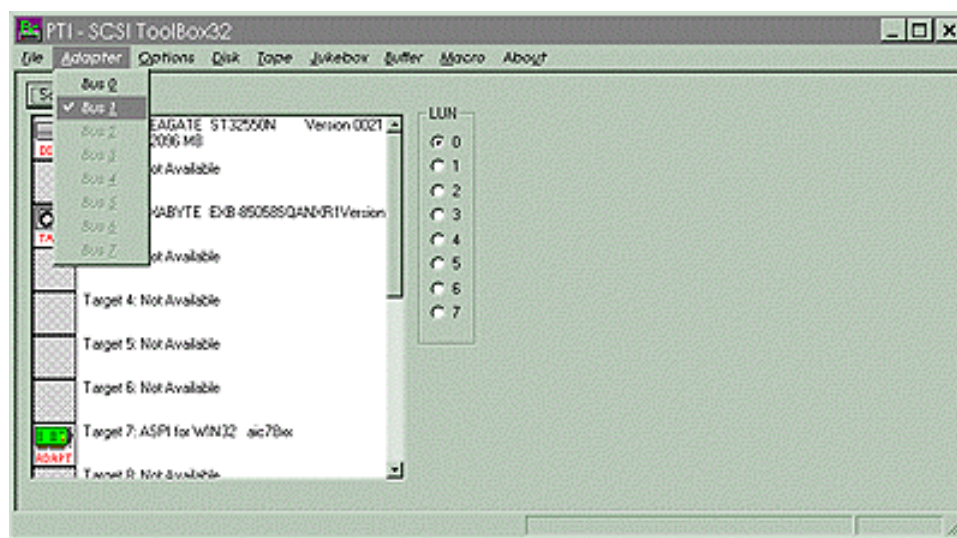
Disk2.exe をさらに別の空のテンポラリディレクトリーに入れ、実行し、展開されたファイルを空の 1.44MB のフロッピーディスクにコピーしてください (この時、disk2.exe はコピーしないようにしてください)。これがインストールディスクの 2 枚目になります。

このデモ版のソフトは、製品版とまったく同じ機能 (オプションモジュールも全て入っております) があり、7 日間使用することができます。なお、このソフトウェアを使用するには、ASPI 互換の SCSI コントローラが必要です。

## SCSI toolbox32 の画面紹介

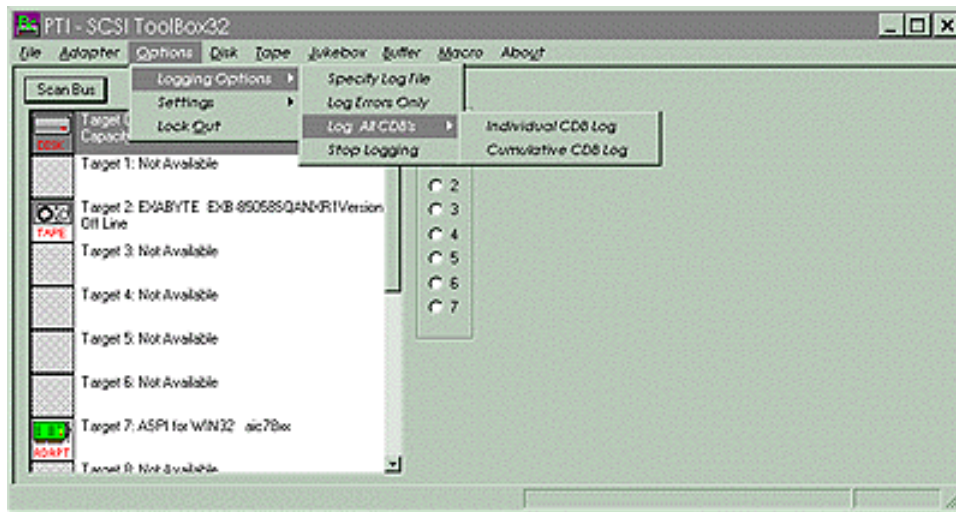


SCSI toolbox32 のメインウィンドウでは、複数のターゲットにバススキャンが可能で、それぞれについての ID 情報をユーザーに提供いたします。

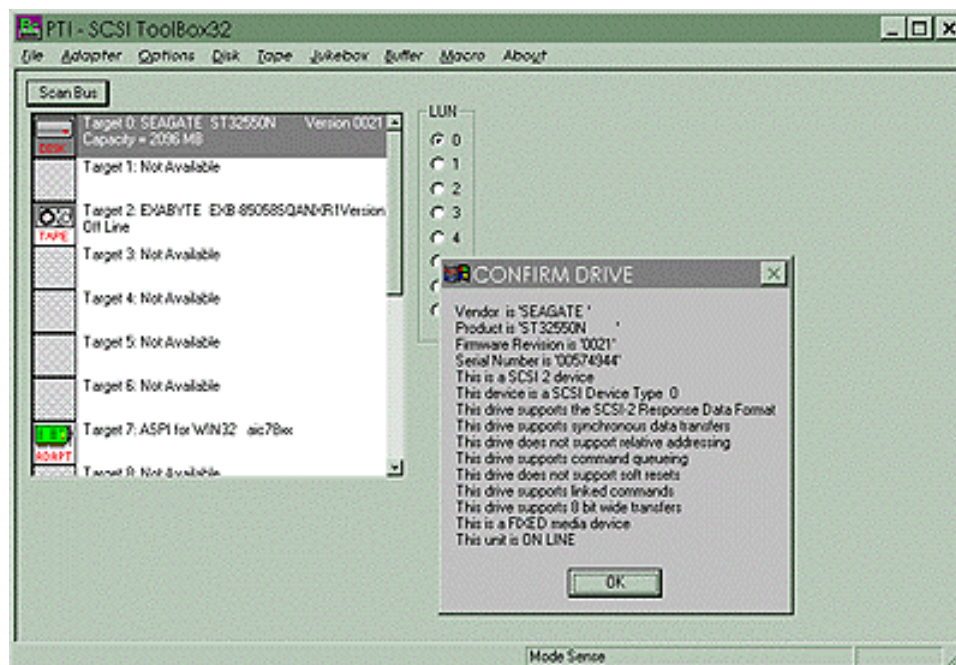


SCSI toolbox32 は最高 8 個のアダプターをサポートしており、そして、ひとつのアダプターにつき最高 8 個の LUN をサポートいたします。  
これにより、シングルエンドナロー、ディファレンシャルワイド、そしてファイバーチャネルコントローラーなど全てを、同一の PC 上で稼働させることが容易となりました。

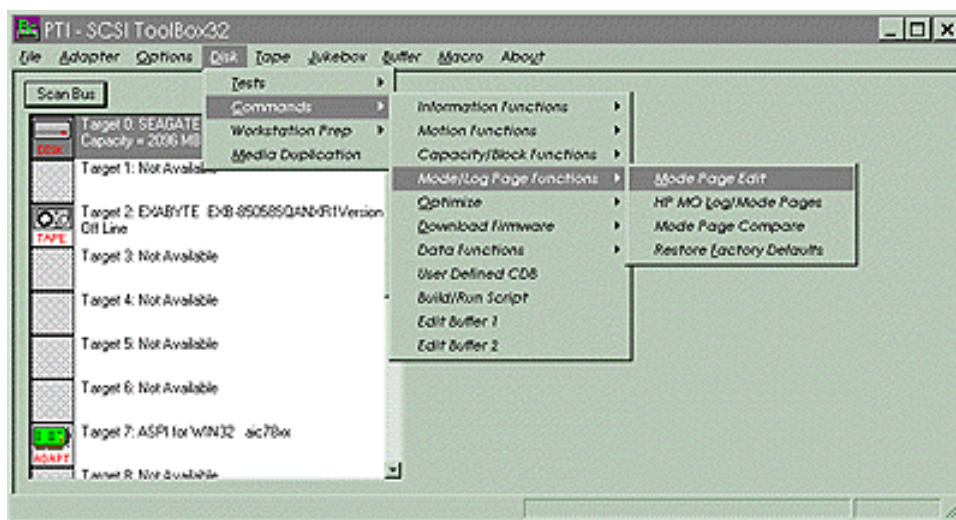




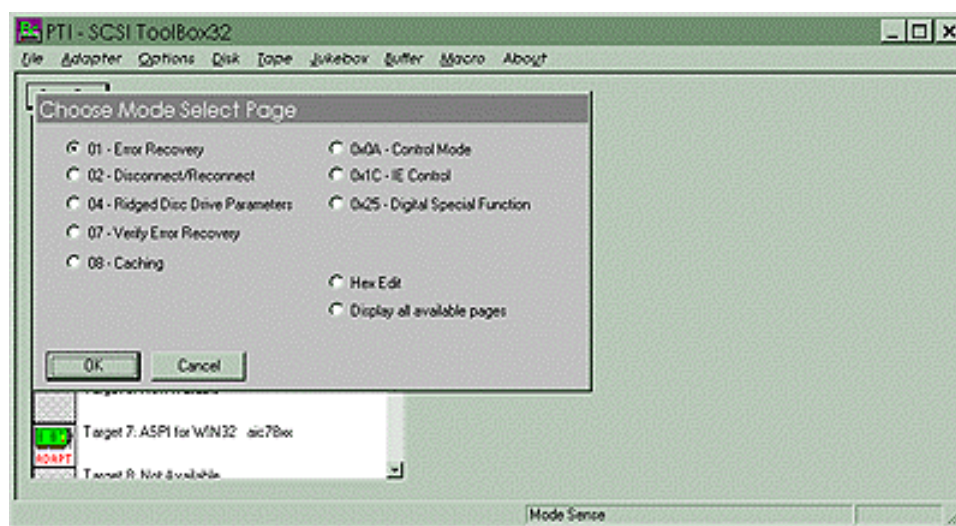
SCSI toolbox32 を使用すれば、ユーザーはエラーのみをログするか、もしくは CDBs ごとにログするか、どちらか一方が可能になります。



選ばれたデバイスをダブルクリックすることによって、その広範囲にわたって調査したデータを全部表示することが可能です。

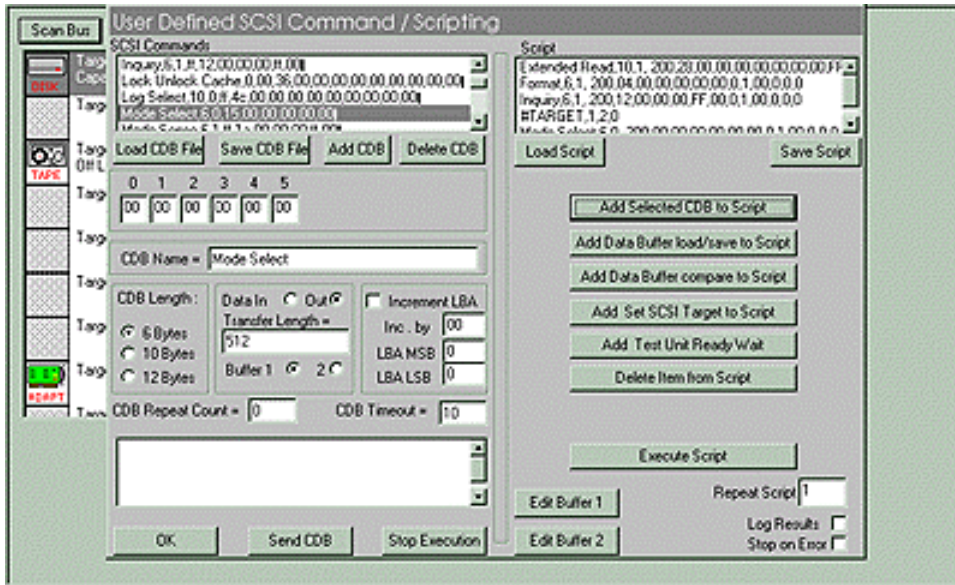


SCSI toolbox32 により、モードページを素早くしかも簡単にエディットすることができます。それに加えて、SCSI toolbox32 特有の Mode Page Compare コマンドにより、複数のドライブにおける全てのモードページパラメーターを同時にチェックすることまでもが可能となりました。

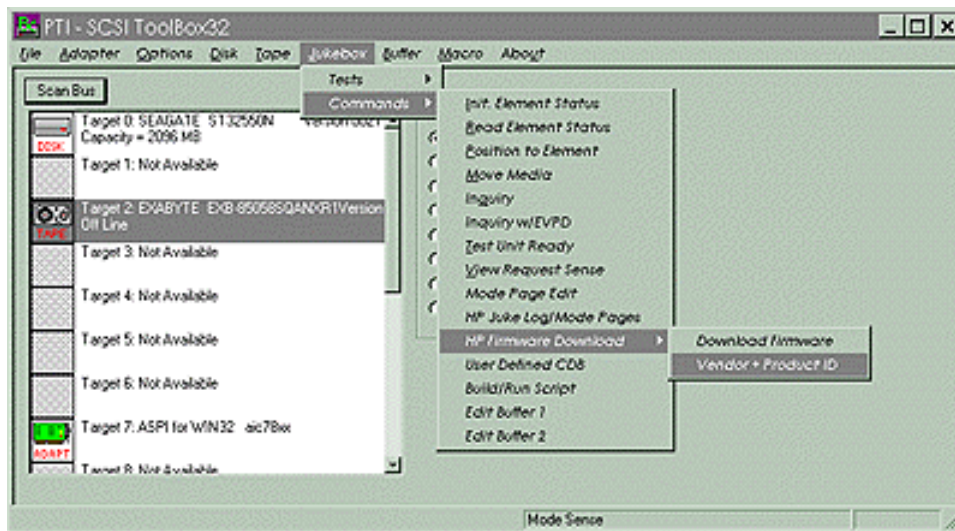


SCSI toolbox32 のメニューストラクチャーには、最も使用頻度の高いモードページがあらかじめセットされており、単にエディットしたいページを選ぶだけで、後に残されたことを SCSI toolbox32 が全て引き受けます。



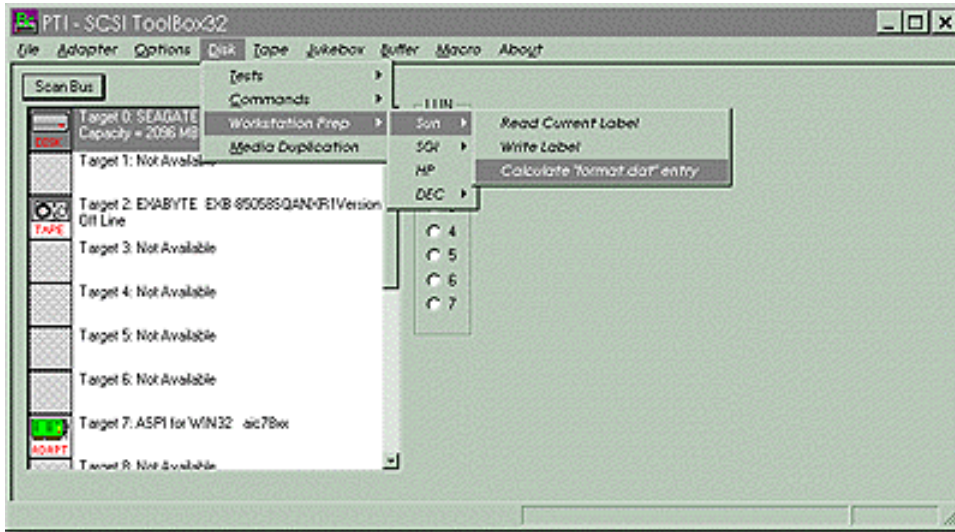


ベンダーを送る 独特な CDBs (とりわけユーザーが選択したスクリプト経由) は素早く、簡単です。モードセレクトをして、ターゲットもしくはホストを変えて、そしてその製品にあらかじめ用意されたテストルーチンを直接そのスクリプトに組み入れれば良いわけです。

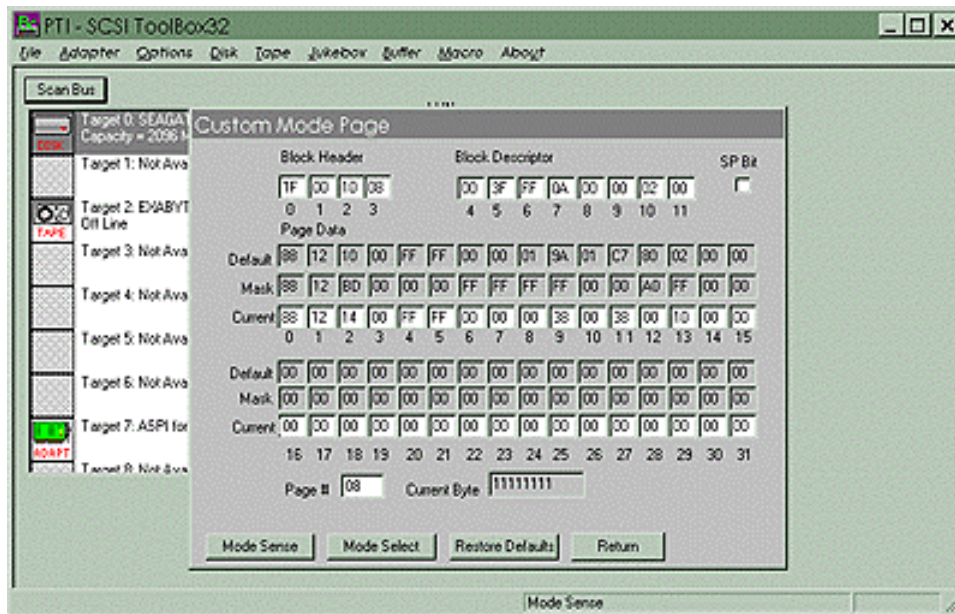


Jukebox Module の特長は、モードエディット、スクリプトの構築、そしてファームウェアのダウンロードといった、スタンダードな SCSI ジュークボックスコマンドです。

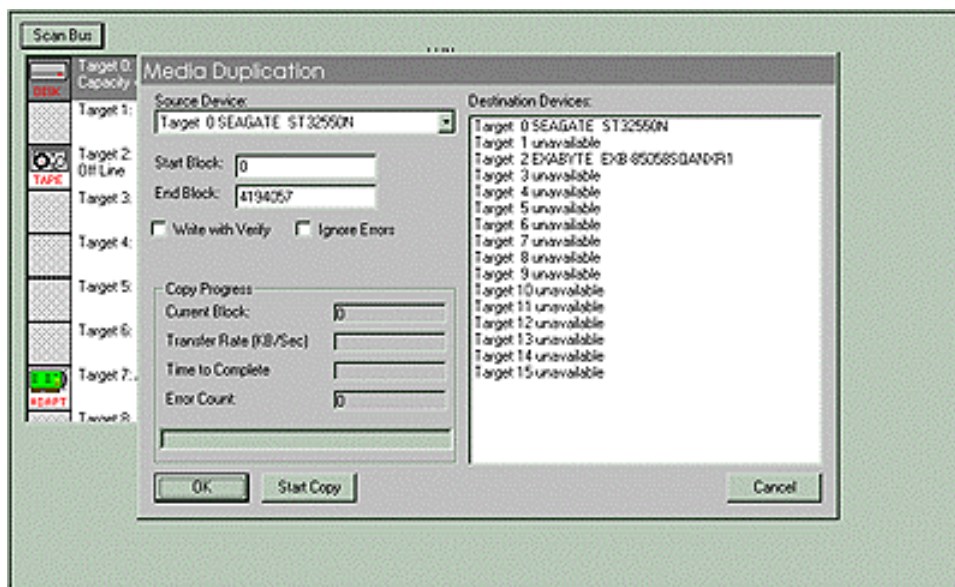




SCSI toolbox32 は、Sun、SGI、HP や DEC などのプラットフォームのディスクドライブにおけるラベリングやパーティションが可能な唯一の製品です。さらに、UNIX を知らなくても、フォーマットデータやディスクタブを自動的に計算することができるのです。



ベンダーユニークモードページの場合でも、SCSI toolbox32 は、混乱、難解などといったことなしで、HEXエディターが使用可能です。



Media Module を使用すると、ひとつのドライブから最大 15 のターゲットのコピーを作成することができます。ディスクからディスクへ、テープからテープへ、そのうえ、ディスク - テープ - ディスクなどといったことも可能なのです。

仕様は予告なく変更する場合があります。

**エレクトロデザイン株式会社**

〒278-0031 千葉県野田市中根 169-2  
TEL : 04-7123-9511  
FAX : 04-7123-9513